

腹が減った珍客・常連客（撮影：2026年2月 芥原 小鳥アルバムは「会員の寄稿」へ移動）

2月になると昨年の秋の実りも食べつくし、腹を減らした小鳥や獣が住宅街にもやってくる。当レストランにも普段は見ない小鳥が来たり、少ない食べ物をめぐって競いあいが激しくなる。追われても、すきを見てすぐに割り込む。食べなければ明日はないのだから、みんな命がけだ。常連さんの中には、店長の姿を見かけると催促にくるお客もいる。



久々のアオジ君（2/4）



初顔のネズ公（2/11）



生育不良で干からびた姫リンゴ  
をつつくヒヨドリ（2/11）



地上に降りてエサ  
を探す（2/15）

花桃の木で給餌を待つ常連客（2/15）



エサをあげるとすぐ来るが、けっして仲よしではない

シジュウカラがメジロを追い、ヒヨドリがそれを追い払う。

リスが独り占めするので、店長が追い払う



生き残るための競争はずっと繰返され、止まらない

みんながお腹をすかせてかわいそうなので、庭に食パンの耳を刻んだものとヒエ・アワをまいた



団体客のスズメ



一人旅のアオジ

レストランでスズメとアオジが鉢合わせ。互いに横目でチラッと見合う (2/11)



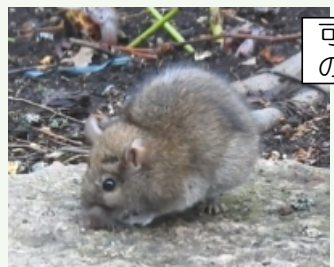
メジロも地上に降りて来た (2/11)



パンくずを食べるヒヨドリ (2/13)



常連のキジバトペア (2/11)

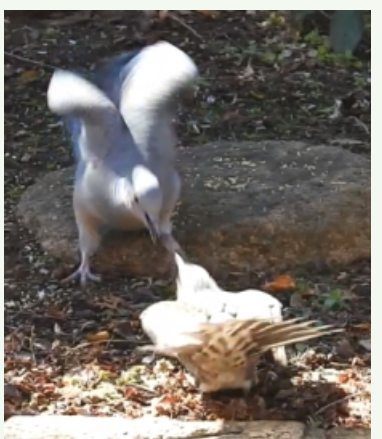


可愛いけど困り者のネズミ (2/11)



でもやっぱり平和は長く続かない、みんな必死なんだ！

キジバトペアに追われるヒヨドリ (2/9)



キジバトとヒヨドリの紛争中にリス登場 (2/11)



こうなるとキジバトも逃げるしかない



毎年のことだが、この時期になると裏庭の夏みかんが狙われる（2/18） 食害は100個以上にも

夏みかんがおいしくなるこの時期に、リスがかじって大穴をあけ、ヒヨドリがそこをつつき、メジロも食べにくる。



リスは痩せてない！！



この酸っぱくて深い味わいの夏ミカンで作るマーマレードは絶品なので、この時期は彼らとの取りあいになる。

この厳しい競争の時期に“のんびり”に見えるお客がいる



ペアでお食事  
(2/6)



陽だまりで休憩 (2/15)



念入りに  
羽繕い (2/6)



羽繕いをしていたら綿羽が抜けて顔についた (2/6)



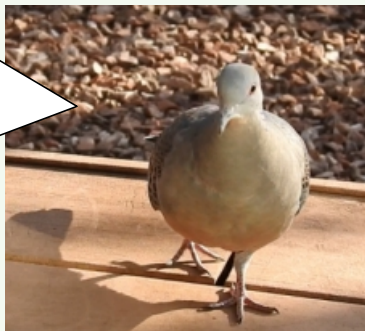
鬱陶しいので  
首を振ったら  
羽が頭に移り  
おしゃれな  
髪飾りに



この子たちは  
私の姿を見ると  
おねだりに  
やってくる

「ごはん  
ちょうだい」

(2/23)



仲良くお食事

